



「つくり隊」と「配食ボランティア」さん 一年を振り返り アンケートで反省会！

毎年3月に行われている“つくり隊”と“配食ボランティア”の反省会ですが、今年度は、昨年と同様にアンケート形式での反省会とさせていただきました。貴重なご意見をたくさん頂き、ありがとうございます。いただいたご意見は、これからの活動に生かしていきます。今年度もよろしくお願いします。



いただいたご意見(一部ご紹介)

配食ボランティア



夏休みに、配食ボランティアを体験する中学生

- ・配食の時にわかるように、ノートに色々書いてくれてあい助がいいます。
- ・忘れないようにカレンダーに丸をしています。考えてみると、弁当配りに行くことは何でもないことですが、その日を忘れないようにすることは、大変なことですね。カレンダーを見ないこともあるなあ・・・。
- ・回数はちょうどよかったです。九蔵へ久しぶりに行ったけど、大雪が降ったら大変だなあ～。

- ・いつも利用者が待っていてくれて、短い間でも話もできてうれしいです。
- ・いつもご苦労さんと言われる。一時、幸せな気分になる。
- ・一日中お一人である方が多いので、できるだけお話をあするようにしています。
- ・「ありがとう」と言われるのは気持ちいいものです。



つくり隊ボランティア



- ・全員揃うと7名ですが・・・3人～4人での調理でした。少々忙しい時もありましたが、社協からのお手伝いもあり、とても助かりました。
- ・用具や調味料など、だいたい揃っていますので、今まで使っていて困ったと思う事はありませんでした。



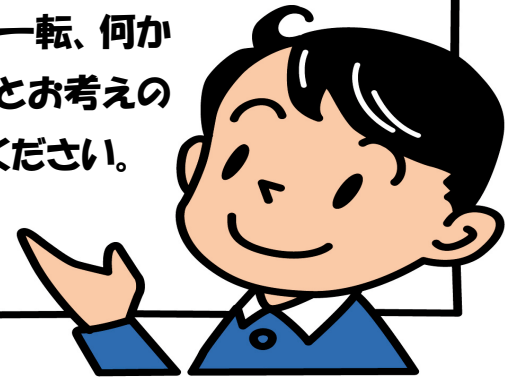
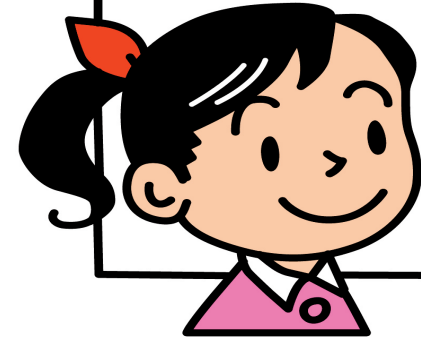
4月に作った田舎お遊び弁当

- ・頑張って作っても、お弁当として食べてみると・・・味がうまかった！という事が多かったです。たとえば、漬物のようなものが入ったとしても、全体的にもう少し味付けを濃くした方が美味しく感じられたかもしれません。
- ・昨年、おせち弁当作りを担当した時、開けてみて「ワァ～！」と言って頂けるような豪華なお弁当に仕上がりが良かったです。
- ・メニューも増えて、見た目も良いと思います。

～令和3年度 社協登録ボランティアさん88名！～

現在、登録メニューで活動いただいているボランティアさんは、女性が65名、男性が23名となっています。昨年度から引き続き活動されている方や、新しくボランティアを始められた方も、楽しみながら活動していただきたいです。

また、新しい年度となり、心機一転、何かボランティアをやってみようかなとお考えの方は、社協までお気軽にご相談ください。
(社協**48-2008)



ちょっといい話をご紹介します！



57歳女性の方の「人生百年、常に前向きに」という記事をご紹介します。

「五十歳を過ぎ、それまで人ごとだと思っていたぎっくり腰、女性特有の病、飛蚊症、顎関節症、そして最近は難聴と体のあちこちに支障が出ている。若い頃とは体の状態が変わったと自覚しつつも、どんどん衰えていくわが体に不安を感じるようになった。目は母、耳は父がそれぞれ弱かったことを思い起こし、「遺伝かもしれないな」と納得している。昔は人生五十年だったのに、今や百年時代。私もこの先、六十代、七十代、八十代とさらに年を重ねていくことを想像してみた。若い頃みたいなことはきっとできないだろうが、誰かのため、世のために少しでもお役に立てたらと思う。常に前向きで笑顔で生活していきたい。」 (中日新聞 2021.3.8より)

年齢を重ねると、若い頃のように体が動かなくなり、できることが限られてくることもありますが、それでも誰かのため、世の中のために役に立ちたいという言葉には、頭が下がります。

王滝村のボランティアさんも、60歳以上の方が多く活躍されており、地域の支え合い活動に欠かせない力となっています。これからも「前向き」な気持ちで、元気に活動していただきたいと思います。

